

【事務事業調書】

事務事業名	町文化協会補助			予算科目	会計 - 款 - 項 - 目 - 事業
				コード	001-10-04-01-0002-01-01-0
担当部課	教育部 生涯学習課	担当係長	文化・公民館係 鈴木 陸夫	事業の分類	既存事業

■事務事業の概要

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	H23 事後評価 文化協会は、町の文化団体相互の親睦を図り、文化、芸術の発展、普及を目指す団体である。同会に、財政的な支援を行いました。	○文化活動の振興や伝統文化の継承を行っている団体の活動の普及・啓発につながります。○町文化祭への参加や、それぞれの団体が図書館中央館、歴史民俗資料館等を会場に展示会等を自主的に実施していることにより、多くの町民に鑑賞していただくための機会の充実が図られます。○文化・芸術団体等の育成と文化意識の高揚につながります。
	H25 事前評価 ○町文化協会の充実・発展のための活動に、財政的な支援を行うものです。○文化協会は、町の文化団体相互の親睦を図り、文化、芸術の発展、普及を目指す団体です。	
実績		

■活動指標

指標	目標値	達成値	特記事項
機関紙「ぶんか」の発行回数	2回		現在会員総数(延べ)477名 機関紙「ぶんか」の発行 年2回 芸術部門発表会 各種部門(文芸・書道・絵画・写真)の展示会 文化祭、地区芸術祭参加

■事業費(計画)

【単位:千円】

	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	補助金	380	H24年度と同額要求
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		380	

■事業費(実績)

【単位:千円】

	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

■事業経費

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	380		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	380		

■補助金等名:町文化協会補助金

■補助事業者等:町文化協会

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	4	現在、46団体、477人の会員が登録している。町の文化・芸術の中心として活動している。積極的に展示会、発表会等を行っており、文化面で町の活性化を進めています。また、書道等を中心として後継者育成にも力を入れている。
		■町全体に波及効果が期待できる。	3	
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	構成メンバーについては、高齢化が進んでいるように感じられる。しかし、本町の文化・芸術の中心として活動をしており、生涯学習という観点からも、必要な団体です。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	3	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	既存団体は阻害しない。受益の機会としては、習い事の常として、興味のある人が参加する傾向にある。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	4	補助要綱のとおり、実績報告書についても、必ず領収書の写しを添付する。
		■予算の見積が適正である。	5	
5	適格性	■実施体制が明確である。	4	自主運営を行っており、計画性があります。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	4	
合計点数		39		
総合評価		継続		